

レジメン番号	687	レジメン名	BR(DLBCL)
登録診療科	血液内科	使用薬剤	リツキサン/リツキシマブ BS、トレアキシシ
がん腫	びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫	インターバル日数	21 日

【投与量・投与スケジュール】

薬品名 投与量/体表面積	投与方法	患者投与量	Day1 ( / )	Day2 ( / )	Day3 ( / )	…Day21	Day1 ( / )
リツキサン(or リツキシマブ BS) 375 mg/m <sup>2</sup>	点滴	mg	↓			3 週間を 1 コース	↓
トレアキシシ(bendamustine) 120mg/m <sup>2</sup> /日	点滴	mg	(↓)	↓	(↓)		(↓)

(支持療法)

パロノセトロン 0.75mg/body	点滴	mg	(↑)	(↑)		3 週間を 1 コース	(↑)
デキサート 6.6mg/body	点滴	mg	(↑)	↑	(↑)		(↑)

《薬剤調製》

薬品名	規格	希釈液/量	投与速度/方法
①リツキサン(or リツキシマブ BS)	100mg	生食 初回：1mg/mL に希釈 2 回目～：1~4mg/ml に希釈	医師の指示通り ※1 下記参照/輸注ポンプ
	500mg		
②トレアキシシ	100mg	生食 250ml	60 分/点滴
③	パロノセトロン	生食 100ml	30 分/点滴
	デキサート		
④	デキサート	生食 100ml	30 分/点滴
⑤	生食	500mL	メインルート/持続
⑥	生食	50mL	5 分/点滴

【当日の投与方法】

【day1】 リツキサン(or リツキシマブ BS)のみの場合

投与間隔>> (メインルート/持続) (指示通り※1) (5分)

投与順番>> ⑤ → ① → ⑥ → 終了

リツキサン(or リツキシマブ BS)+トレアキシシ同日投与の場合

投与間隔>> (メインルート/持続) (側管 30 分) (側管 60 分) (指示通り※1) (5分)

投与順番>> ⑤ → ③ → ② → ① → ⑥ → 終了

【day2,(3)】 ※リツキサン(or リツキシマブ BS)別日の場合：Day2 ③, Day3 ④、同日の場合：Day2 ④

投与間隔>> (メインルート/持続) ※ (側管 30 分) (側管 60 分) (5分)

投与順番>> ⑤ → ③or④ → ② → ⑥ → 終了

【備考】

◎トレアキシシは Day1,2 投与または Day2,3 投与のいずれか。

⑤生食 500mL (メインルート) 上記はすべて側管から投与する。

リツキサン投与速度：

初回投与時、最初の 30 分は 50mg/h で開始し、患者の状態を十分観察しながら、  
注入速度を 30 分毎に 50mg/h ずつ上げて、最大 400mg/h まで速度を上げることができる。

2 回目以降の投与速度は下記のいずれかを選択可能 (リツキシマブ BS は②を選択不可)

(1)初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/h で開始し、その後 30 分毎に 100mg/h ずつ上げて、  
最大 400mg/h まで上げることができる。(1mg/ml に希釈しているときのみ選択可能)

(2)臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に発現した副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が  
5,000/μL 未満である場合、90 分で投与 (最初の 30 分：投与量の 20%、その後 60 分：投与量の 80%)

・リツキサン開始 30 分前に、クロルフェニラミン TR 錠 6mg,アセトアミノフェン錠 500mg を服用